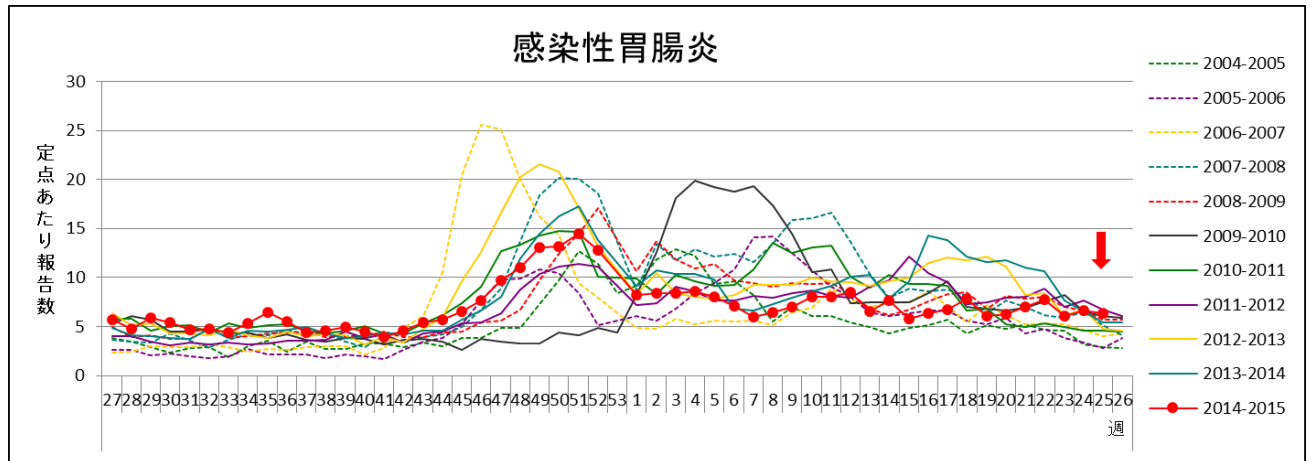


感染性胃腸炎週報 2015年 第25週 (6月15日～6月21日)

○感染性胃腸炎は、県全体で341名(定点あたり6.63→6.31人)の報告がありました(54定点医療機関報告)。

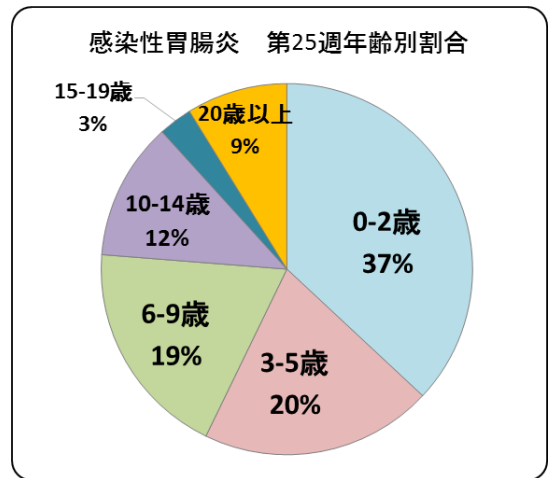
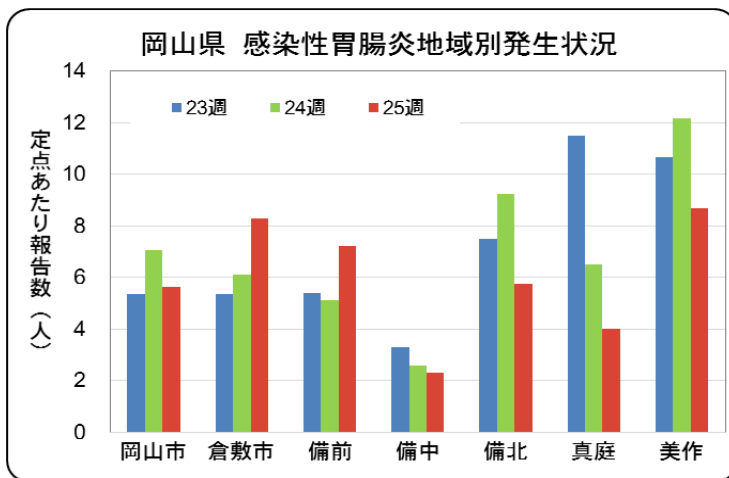


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、27週～翌年26週でグラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で341名(定点あたり6.63→6.31人)の報告があり、前週とほぼ同数でした。地域別では、美作地域(8.67人)、倉敷市(8.27人)、備前地域(7.20人)の順で定点あたり報告数が多くなっています。年齢別割合では、5歳以下の乳幼児が全体の57%を占めています。

例年、梅雨から夏にかけての高温多湿になる時期は、食中毒菌による感染性胃腸炎も増加します。岡山県では「食中毒注意報」を発令し、注意を呼びかけています。特にトイレの後や調理・食事の前には、石けんと流水でしっかりと手を洗うなど、感染予防に努めてください。

◆地域別・年齢別発生状況



◆◆◆ 食中毒を予防しましょう! ◆◆◆

- トイレの後・調理前・食事の前には、手をよく洗いましょう。
- まな板・ふきんなどの調理器具は、十分に洗浄消毒しましょう。
- 生鮮食品や調理後の食品は、早めに冷蔵庫に入れましょう。冷蔵庫に入れても、細菌はゆっくり増殖するため、冷蔵庫を過信せず、早めに食べるのが大切です。
- 加熱して食べる食品は、中心部まで十分に火を通しましょう。特に、食肉は中心部まで火を通し、生食は避けましょう。

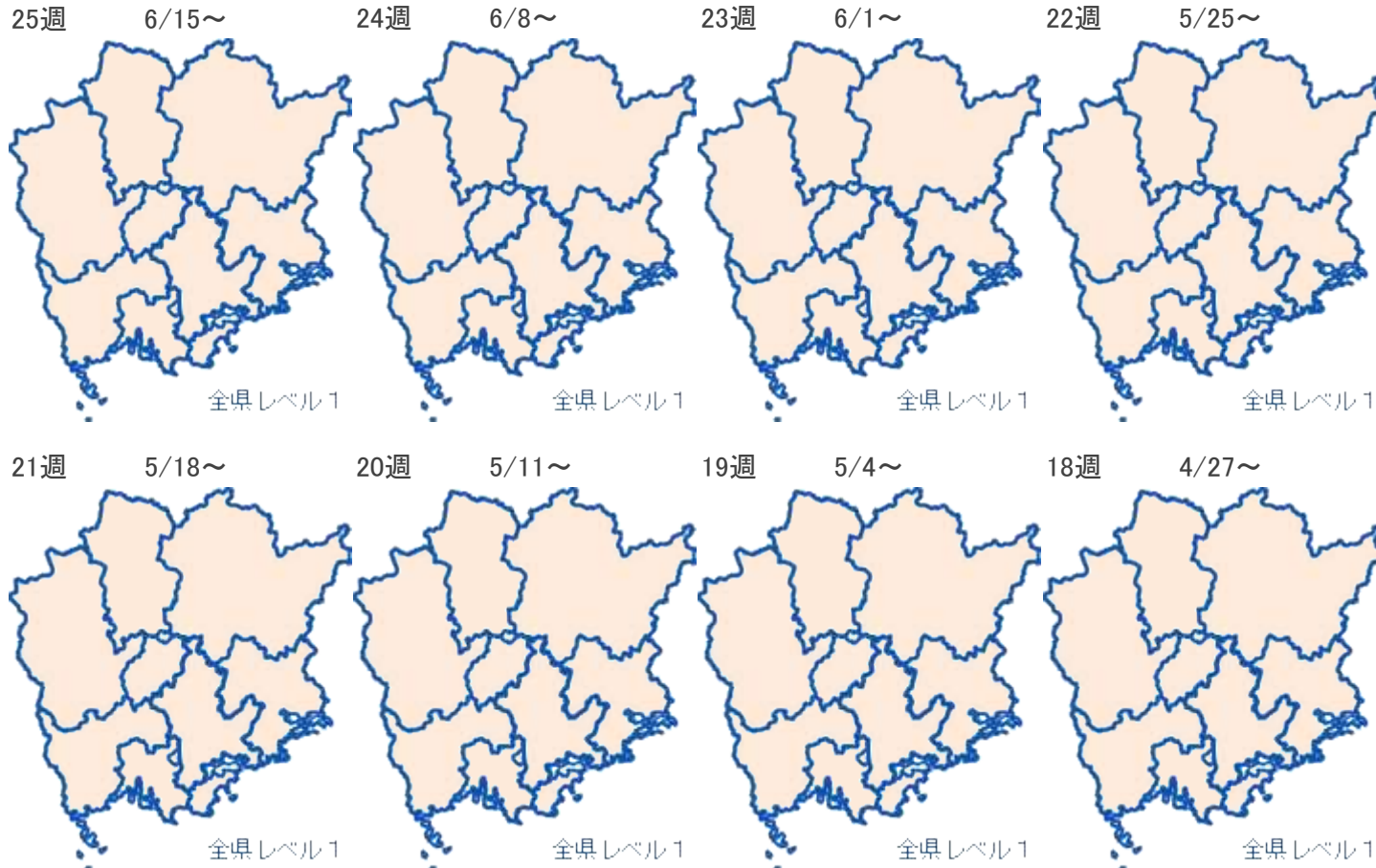
[食中毒注意報を発令しました! \(岡山県生活衛生課\)](#)  
[食中毒に関する情報 \(厚生労働省\)](#)



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2015年 25週

2015年6月23日

15:51:47



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2	レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値	基準値
20	12		0 < 20 未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。